

主張

●終戦59周年

原
明
日
点

非人間的体制変えた

戦後の日本は、「政府の行為によつて再び戦争の禍禍が起ることのないやうにする」ことを決意し、ここに主権者が国民に存することを宣言」(憲法前文)として制定されました。

小学校区コミュニティでの子育て力を養う事や教育現場での安心・安全が叫ばれている中で、通学路の安全や学童保育・緊急時の事、抽選という事が教育の現場にあうのか?等々問題は山積みされているのに実施しようとしています。何よりも「地域にも現場にも混乱を持ち込む」と審議会で反対された校長先生の弁。

こどもと保護者・地域・現場に知らせず、問題が起れば自己責任では困ります。もっと情報を流し、意見を聞き、問題点を整理することが当たり前ではないでしょうか?(幼稚園は園区を残したまま完全自由化になります)

地域に幼稚園や中学校を建設して欲しい等の声はどうなるのでしょうか?

憲法第九条を「日米同盟の妨げ」

行っています。民主党・岡田代表は

院議員などと「微兵

制によるがる議論まで

いたるがる議論まで

あります。「なぜ? ? ? ?

こども達は私達の未来であり、

宝です。どんな子育てをしていくか? していきたいか? 声に出しませんか? 主公は住民です。

日本の天皇制政府の降伏で第二次世界大戦が終結(一九四五年八月十五日)してから、五十九周年です。戦争の「国民的記憶」が尊れるのに乗じた九条改憲の動きや、自衛隊のイラク多国籍軍参加などを大きな動きが増しています。

課されました。天皇制政府は、いざというときに天皇に忠義をつけていたのが「臣民」のあるべき姿だとする「教育勅語」を学校教育を

国憲法は、非人間的侵略的な体制を変えました。国民は、兵役の義務であり、国民は、「臣民」だとしてから解放に向ひます。その重大性に力行使に走らないよう政府を監督する

と国民の意思に反して自衛隊イラク派兵多国籍軍参加を強行。憲法九条に狙いを定めた改憲運動をすすめ、自民党内では「国防の義務」や

国家権力の暴走を抑えて規制する役

に奉仕活動の義務」を「若い人たち

に義務づけられるよう

な国に」「森岡正宏衆

院議員などと「微兵

制によるがる議論まで

いたるがる議論まで

あります。「なぜ? ? ? ?

こども達は私達の未来であり、

宝です。どんな子育てをしていくか? していきたいか? 声に出しませんか? 主公は住民です。

平和のために知恵を

本と世界中の人々の命を輝かせるも

のです。

しかし、小泉・自公政権は、憲法

の命を奪います。その重大性に

めらいをせず、平然と議論する

見えないのでしょう。歴史の教訓を

見ない時代錯誤の議論です。

戦争放棄の理念が命を輝かす

目を裏たすことになりました。

そして、憲法前文が、全世界の國

の國の命と同じように重く、大

切にされなければならないという考

え方にたったものです。戦争放棄の

理念、憲法の平和主義の原則は、日

本と世界中の人々の命を輝かせるも

のです。

二度にわたる世界大戦の惨害か

ら、国連憲章は、戦争のない世界を

めざし、紛争の平和的解決を各国に

武力行使を可能に」と発言しまし

た。

憲法第九条を「日米同盟の妨げ」

だとする米政府首脳発言が相次いで

いるよう、九条改憲論こそ、アメ

リカの押しつけです。

は、戦争や武器の開発のために

なく、紛争を話し合いで解決し、平

和をつくりだすために使うべきで

す。日本国憲法の平和原則を生き

ています。人類の恵

命は、戦争や武器の開発のために

ではなく、命を奪います。その重大性に

小・中学校、校区の自由化???

来年度から、新1年生は、隣接する小中学校に入学出来るようにすると教育委員会が進めているのをご存じですか? 5%の枠を設けて、それ以上は抽選だと

か? 「校区審議会」の答申を受けてということですが、今も引越しやイジメなど個別の対応は窓口でされ、校区外へ通えていますし、ミニ開発での校区変更は地元の方の声を聞いて実施すれば問題はありません。

小学校区コミュニティでの子育て力を養う事や教育現場での安心・安全が叫ばれている中で、通学路の安全や学童保育・緊急時の事、抽選という事が教育の現場にあうのか? 等々問題は山積みされているのに実施しようとしています。何よりも「地域にも現場にも混乱を持ち込む」と審議会で反対された校長先生の弁。

**9月1日より
9月講会が
はじまります**

ぜひ、傍聴にきてください

セミの声にまじって、高校野球やオリンピックへの歓声が聞こえる毎日・・・

暑い、熱い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか?

毎年8月6日は「核兵器廃絶」を訴えて街頭へ... 知らん顔で通り過ぎる人もあります、「暑いのにご苦労様」「がんばって下さい」と声をかけ署名して行かれるたくさんの方々。立ち去った後わざわざ、カンパを届けに走ってきて下さる方も... 「私達は微力だが無力ではない」との言葉を力に今、まさにその「微力」を増やして行かなければ! と感じているところです。

命は守られていますか?

9日沖縄原発の事故が起りました。13日沖縄で米軍ヘリが大学に墜落するという事も起きました。私達国民は知らないけれども情報を取り扱っているところが?

政府は電力会社を責め、電力会社はメーカーをさせ、メーカーは責任問われず... 「配管の寿命を調べる検査」は15年前まであったといいます。雪印の事件も二度自動車の事件も根本は同じ。「命を守るためにある基準」を守られずをささぐ。「何のため?」「誰のため?」アメリカのBSEの全国検査も今厳しい基準を守りつつあります。私の友人は雪印事件で一番解雇になってしまったパート労働者でした。

日本の国士が起きた米軍ヘリ事故の調査に入れねい日本の国。沖縄県内4回目の事故だとあります。事故一日後には米海兵隊普天間基地でC2A機滑走路への離発着を繰り返す「タッチ・アンド・ゴー」の訓練をひいています。

日本は本当に「独立国」なのでしょうか? 15日「全国漁港者追悼式」で小泉首相は「世界が一層の高い信頼を得られるよう尽力を願へます」と述べました。

「世界」という言葉が国民が考へている世界がいることを願わずにはおれません。国民の8割以上が年金改悪に反対し、6割が憲法を守れと言っているのに、その事を無視したことについて

小泉内閣。国民は私達ひとりひとりが...



日本共産党 川西市議会議員 黒田みち 市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。日本共産党川西市議会議員 黒田みち

みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...
くらし・福祉・
教育最優先の市政めざして
日本共産党川西市議会議員 黒田みち
日本共産党川西市議会議員 黒田みち
FAX 759-1811



2004年8月15日(日曜日) 【政治】 B版 (2)

イラク戦争反対私たちの叫びをこめて

大統領選の中、米国内でさまざまなイラク戦争・占領反対が繰り広げられています。特に米国民の心を揺さぶっているのは、実際にイラクに派遣されている兵士とその家族の叫びです。イラクの戦場に送られた米軍兵士の家族でつくる「声をあげる兵士家

族の会」(MFSO)代表のナンシー・レシンさんがいました。報告は、イラクでの捕虜や拘束者の問題は、車にはなかったのです。そして酒を浴びるように飲むようになってしまった。五月の戦没者記念日の週末、彼は復員軍人援護局の病院に入院しましたが、四日後に退院させられました。車は、飲酒を抑えられないなどというの

ます。会には三十を超える金星(勲章を受けた)

家族がいます。愛する家

族をイラクで失った人た

ちです。

会の目標はイラク侵略の阻止でした。開戦以後

は、占領をあらめさせ兵を

帰すことです。今年七月、米上院が出した報告

は、大量爆破装置および

アルカイダとのつながり

が、組織的問題なのです！

「声をあげる兵士家族の会」代表 ナンシー・レシンさんの発言

PTSDで

自殺者も

愛する人を迎えた家族

の不安は、戦場に再び送

られる可能性とともに、

月、米上院が出した報告

は、大量爆破装置および

アルカイダとのつながり

という、イラク侵略の中

で、大砲の餌食にされ

るのだと。

二〇〇三年秋、戦争の

足音が完全に響くなか

言い残しました。その通

りでした。

戦争に行くのは私たちの

愛する人であり、石油利

権と帝国建設のための戦

争で、大砲の餌食にされ

るのだと。

十月、戦場行きを目前

にいた子どもを持つ父親

に会いました。そして十

一月、イラク侵略を阻止

したいと、二家族で「声

をあげる兵士家族の会」

をつくったのです。連邦

政府に声を上げました。

上院議員にも陳情

しました。アッシュ・大統

領とラムズフェルド国防

長官も相手取って裁判も

起しました。

いま参加する兵士家族

は半百を超えて毎日、

新たな家族が参加してい

うそで固めた戦争で 愛する人を死なせるな



イラクで死んだ兵士の写真を掲げる家族たちの前

いつも戦争は「偽り」からはじまる。本当の事を見えなくさせ、眞実を孤立化させて…

あなたもお読みください

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円

正義の戦争なんてないのです。

今、私達は声を出さなければ…

8/5 赤旗
潮流
競技場に立ったエーテル海のまわりを
舞う、ギリシャ文
明の歴史をたどり、
古代と現代が対話した、アテ
ネ五輪大会開会式。祭壇劇の
終りに現れたのは、オリ
ーの木でした。平和の象徴オ
リーブの下で、国際オリンピ
ック委員会ロゴが会場が語りま
した。「五輪停戦の精神はギ
リシャで生まれた。大会が平
和のなか開かれるために」
の前、休戦協定が結ばれまし
た。しかし、いつも穏やかだ
ったわけではありません。た
とえば、紀元前三六四年の大
陸上競技場のあるエリス地
方オリンピアの神域に埋葬エ
リシウムが事をすめ、戰闘が
起きました。大会の開催権を
奪い合う争いでした。(吉坂新
書『古代オリンピック』)▼

それでも古氏オリンピックは
三千五百近く、一度も欠かさ
ず続きました。一八九六年に
始まる近代五輪は、戦争のせ
いで三回中止されています。
うち、一九四〇年の十二回大
会は東京で開かれる予定でし
た。しかし、中国を侵略して
いた日本政府は、戦争に國內
総力を注ぐため大会の中止を
決めました。中國侵略に抗議
し、不参加を表明する國も続
出しました。やがて太平洋戰
争。日本の侵略は、二千万を
こすアジアの人々、三百万以
上の日本人を犠牲にしてしま
いました。十五日は、日本の敗
戦から五十九年目の日です。
アテネ五輪開会式で、大会組
織委員長は、オリーブの木を
近づけよみがえらせたケーブ
ルランの言葉をひきました。
「オリーブ木を開いてほ
れ! これが、占領者